

2015年7月23日

株式会社ネクスグループ

2015 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース前夜祭『風を感じて』タンデムパレード にボランティアとして参加致します

株式会社ネクスグループ（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：秋山 司、以下、「ネクスグループ」）は、社員一人一人が社会と直接関わる機会となるボランティア活動を積極的に支援しています。この度、CSR 活動の一環として、「風の会」が開催する鈴鹿サーキットでのタンデム走行に協賛を致します。

○ 風の会について

鈴鹿8時間耐久ロードレースの決勝前日に、現役・OBライダーの方々が集まり、身障者の方をパッセンジャーシートに乗せ、鈴鹿サーキット本コースを走行するという社会貢献活動です。

代表である元ロードレースライダーの水谷勝氏が、テストコースでの体験走行のイベントの際に、参加者の友人で見学をしていた車椅子の方に、声を掛け後ろに乗せて走行した際に、動かない筈の足が、コーナーを曲がる度に力が入り締め付ける動きが伝わってきました。もしかしたら、リハビリの一環になるのかもしれない。という思いが広がり、普段は車椅子で生活している、杖をついている、盲目の方など、バイクに憧れていても、夢叶わぬ人達に「風」の素晴らしさをタンデムランで夢を現実に変えていきたい。そして、その方々の周りの方にも、バイクの素晴らしさを共有して頂きたい。という思いで発足しました。



○ 活動内容

ネクスグループはM2M分野製品ラインアップの一つとして、オートバイ用GPSデータロガー端末(バイクの様々な情報を収集する端末)の開発をおこなっています。オートバイ用製品の開発にあたり、試作機のテスト運用やデータ収集・解析をおこなうために、昨年 Team「WINNER Z-TECH & NCXX Group」を結成し、鈴鹿8時間耐久ロードレースへ参戦を致しました。今年も、昨年に引き続き鈴鹿8時間耐久ロードレースに参戦を致します。

普段バイクに乗りたくてもできない人達の夢を叶えたいと言う「風の会」の活動に共感を受け、以前より、Team「WINNER Z-TECH & NCXX Group」のライダーである國松俊樹は協賛ライダーとして参加をしております。

今回は、ネクスグループからもボランティアとして参加し、障害者の方の乗車や、その他サポートを行います。

障害のある方や高齢者の方達が、実現したくてもできない事をどのようにサポートし実現していくかという事、ひいては、「個々さまざまな要望をくみ取り、それを具現化していく」という事は、モノ創りを行うネクスグループの根底にある想いです。私たちは、社内外のさまざまな人たちと活動を通して、多くの考え方と出会い、視野を広げ、新たな価値観や発想を生み出すことが、組織の活性化につながっていくと考えております。

今後も、ボランティア活動を通して従業員一人ひとりが成長し、会社と社会の活性化につながる様に、多くの従業員が自発的に社会参加できる機会を提供していきたいと考えています。



出発前の様子



○ 開催要項

日時： 2015年7月25日(土)受付時間 午後3時～4時(午後4時イベント開始、5時15分ごろ乗車、6時半ごろ終了予定ですが、当日のレーススケジュールにより変更する場合がございます。)

集合場所： 三重県 鈴鹿サーキット・コース駐車場 (〒510-0201 三重県鈴鹿市稲生町7992)

*詳細は「風の会」HPでご確認ください。 (<http://kazenokai.org/about/index.html>)